

教職大学院 NEWS

vol.30

2020.12月発行

三重大学大学院教育学研究科
教職実践高度化専攻

連携協力校実習を終えて

田邊 正明 (連携協力校実習担当)

今年度の連携協力校長期実習は、11月18日(水)にすべて終了しました。3期生3名、4期生10名が、津市・名張市・四日市地域の小中学校8校・中学校4校・高等学校2校、計14校に分かれ実習に臨みました。各学校長様をはじめとする関係教職員の皆様、管轄の津市教育委員会や三重県教育委員会には、大変お世話になりました。ありがとうございました。

連携協力校長期実習は、院生一人ひとりのテーマや実習校希望の聞き取りから始まり、実習予定校への打診・了承、院生への通知と実習計画案の作成・指導、長期実習関係者説明会(実習の詳細説明と校長・院生・指導教員の三者懇談)の開催、実習前実習校訪問による最終打合せ、実習校による実習(10日あるいは15回)指導実施、指導教員による実習指導のための実習校訪問、実習校による実習後評価・評価書送付、院生による実習報告会の開催等のサイクルで、9カ月～10カ月にわたって実施される教職大学院の中核を成す科目(学修)です。大学院カリキュラムには、「課題発見・解決実習Ⅰ・Ⅱ」として位置づけられています。実習終了後の院生の感想は、後載を見るまでもなく良好であり、感動すら覚えたと話す院生もいました。学びの大きさ・多さに、担当として、実習校に対して感服しております。

さて、今年度の連携校長期実習は、コロナ禍での試行錯誤の部分があり、関係者の皆様にはご迷惑をおかけしました。特に、実習校と大学院の間での感染防止対策方針の違いから、実習時期の度重なる変更が生じ、実習自体の実施が不透明になったこともありました。あの時期を思えばこうして、実習終了の報告を書けることに大きな喜びを感じています。

教職大学院一本化の新体制になっても連携協力校長期実習は継続します。今後とも、三重大学教職大学院にご支援いただきますよう、よろしくお願いたします。本当にありがとうございました。



津市立北立誠小学校で2週間実習をさせていただきました。学校として研修が盛んに行われており、ベテラン教員の指導のもと、「若手が力量を高めていける組織の在り方」という点で学ぶことが多くありました。何よりも私と同じ年代の先生方が、自分の専門性を発揮し、生き生きと実践を行う姿に、「自分も負けてはいられない」と刺激をもらうことができました。実習で学んだことを今後の学修や自校での実践に活かしていきたいと思えます。(学校経営力開発コース4期生 浅井慎哉)



私は津市立一身田小学校にて実習をさせていただきました。私自身の学修テーマに取り組みながらも、子どもを迎えるための教職員体制の重要性を知ることができました。授業実践、生活場面の指導・支援の充実などについて、教職員全員が意思共有しながら「子どものために何ができるか」と考えている姿を見てきました。今後教員として、学校または子どもにどのような働きかけをしていくべきか深く考える実習になりました。(教育実践力開発コース3期生 西田郁也)

長期実習の成果報告会を開催しました

11月26日には東紀州実習、12月3日には連携協力校実習の成果報告会をオンラインで開催しました。両日とも、院生1人1人が実習を通して学ばせていただいたことを教職大学院全体で共有する貴重な機会となりました。

今後、実習での学びを再び1人1人の学修テーマと重ね合わせ、探究を続けていきます。

対面授業、少しずつ再開しています

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今年度、前期の授業は全てオンラインでおこなわれてきました。しかし、後期に入り、少しずつ対面での授業が再開しつつあります。



中核コア科目の1つである「地域の教育課題解決演習Ⅱ」では、これから教員として教壇に立つことを目指す教育実践力開発コースの院生たちが、模擬授業検討会の取り組みを進めています。

「模擬授業」は、「対面」でおこなうからこそ気づくこと・見えてくるものがある取り組みと言えるのではないのでしょうか。

例えば、実際に子ども(本科目においては、「子ども」役を他の院生や教職大学院スタッフがとめます)を前にして、教師としてどのようにかわり、授業を進めていけるか。こうしたことは「オンライン」ではつかみにくい事柄の1つです。

院生たちは、入学後、主にオンラインで授業を受講してきました。もちろん、オンライン授業のよさもあります。そして、これからの時代、教員たちが「オンラインで授業をすること」がいまよりも一般的になる可能性も高いです。しかし、教職大学院修了後に教壇に立つときには、「対面」でよりよい授業をおこなえる実践力をまず身につけていなければなりません。

対面で授業ができることの貴重さ・大切さを実感しながら、そして感染対策を十分に講じながら、院生一人ひとりの実践力向上に結びつけていけるよう取り組みを続けていきます。

一般公開
(オンライン)

3期生 最終成果報告会のお知らせ

下記の通り、3期生(2019年度入学生)の「最終成果報告会」を開催します。

なお、今年度は、オンラインウェブ会議システム「Zoom」を用いて公開いたします。

事前に申込が必要となりますがどなたでもご参加可能ですので、多くの方々に3期生たちの成果を見届けていただけますと幸いです。

日程

令和3年 2月13日(土)

申込方法

2月9日(火)までに【info-mkd@edu.mie-u.ac.jp】宛に「お名前」「ご所属」を記入したメールを送信してください。受付後、ZoomのURLを記した招待メールをお送りいたします。

入試情報

選抜試験【B日程】(学部新卒者等対象)

出願期間 が近づいてきました

日程

令和3年 2月11日(木・祝)

出願期間

令和3年 1月7日(木)~14日(木)

※ 詳細は、募集要項及び本学のウェブサイトをご覧ください。



編集・発行 三重大学大学院教育学研究科 教職実践高度化専攻(教職大学院)広報担当

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

✉ info-mkd@edu.mie-u.ac.jp

三重大学教職大学院ウェブサイト <http://mkd.edu.mie-u.ac.jp>